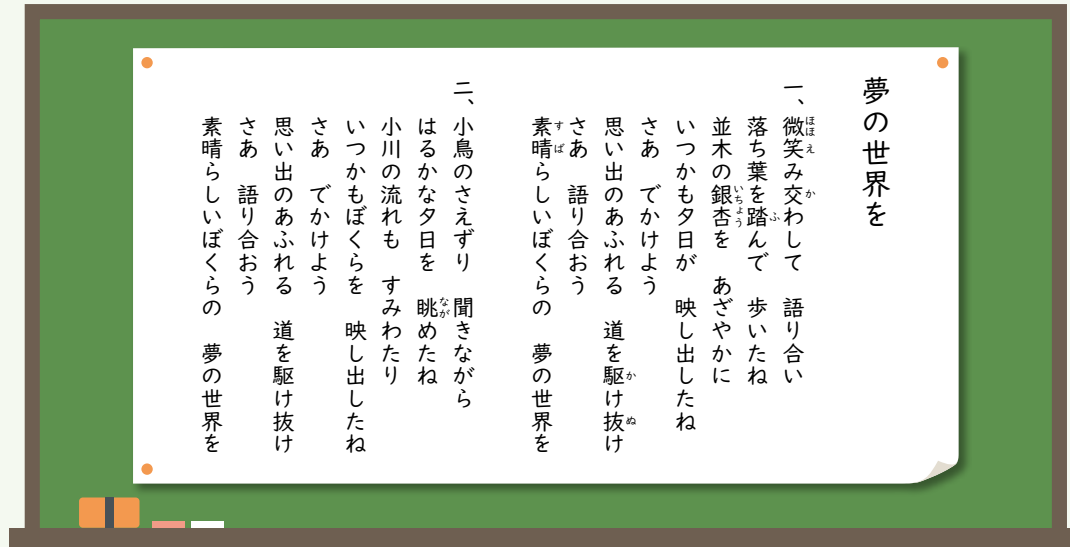




自分たちの表現を工夫しよう

楽譜がくふに書かれている音符や記号おんぶは、作曲者のメッセージであり、曲想を感じ取って表現するための手がかりの一つとなります。「夢の世界を」(p.30)の音楽の特徴とくちょうを捉えて、表現を工夫くふうしましょう。



1 この曲は[A]と[B]の2つの部分で構成されています。
 楽譜 (p.30) と上の歌詞を見比べて全体の流れを確認しましょう。

確認したことなどを書きましょう。

2 [A]と[B]の各部分について、演奏きを聴いたり歌ったりしながら、音楽や歌詞から気付いたことや、感じ取ったことを右ページの表に書きましょう。その際、下の「注目するポイント」を参考にしましょう。

注目するポイント

リズム 旋律せんりつ テクスチャ 強弱 構成

3 2で気付いたことや感じ取ったことを手がかりに、3つのパートを歌い合わせながら、[A]と[B]の各部分をどのように歌いたいか話し合っ、下の表に書きましょう。

	音楽や歌詞から気付いたことや感じ取ったこと	どのように歌いたいか
Aの部分	例 ・全員で同じ旋律を歌っている。	例 ・声をそろえて明るい声で歌いたい。
Bの部分	例 ・「さあ てかけよう」の部分が、私たちに呼びかけている感じがする。	例 ・fを生かして、のびのびと歌いたい。

4 3で話し合ったことをもとに、自分たちの表現を工夫して歌いましょう。

工夫したことや歌ってみた感想などを書きましょう。